

令和元年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん		
指定管理者	団体名	医療法人 章士会	
	代表者	三上 史雄	
	所在地	むつ市柳町一丁目8番22号	
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）		
指定管理業務の概要	介護サービス（介護老人保健施設）		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	131,800	117,397	▲14,403
うち利用料金額	119,300	115,931	▲3,369
うち指定管理料	0	0	0
支 出 合 計 (B)	131,800	134,306	2,506
うち人件費	104,400	106,400	2,000
収支差 (A-B)	0	▲16,909	▲16,909
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	利用者延数を年間9,644人(前同104% +370人 利用率90.9%)、1日26.3人として目標設定しましたが、年間9,014人 達成率93.5% (前同97.2% ▲260人)、1日24.6人 (▲1.7人)と未達、また、2年続けて前同実績に届きませんでした。年度内退所者20名のうち、特養施設への転院(8名)や死亡(6名)と予定をしていない退所が70%にのぼり、入所者の補充を速やかに行えなかったこと、当施設の設備や医療体制では受入れることが可能な入所希望者が少なかったことが主な理由です。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	介護老人保健施設	9,644	9,014	▲630
	入所者延数			
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> ） 提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員等が利用者とその家族との面談を定期的に行なうことにより苦情や相談を収集して迅速な対応をすることとしています。また、すべての部署で情報共有されるよう会議体を設置し施設全体で対応しています。今年度における苦情等はありませんでした。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事 業 名	利 用 者 数	収 入	支 出
老健夏祭り	入所者26名と地域の方々	0	271

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

医療機関併設施設という利点を生かし、医療と介護サービスが効率的に連携された質の高い施設運営を目指して、サービス提供の体制を常に見直しながら整えています。入所された方やご家族が安心して毎日をご過ごしていただけるよう、健康管理と適切なリハビリの提供を行い、安心して在宅での生活に戻ることができるよう他事業所との連携も含めて支援体制の強化に努めています。

来年度は、特養等の外的要因を踏まえた利用数の増加対策と職員研修の強化により提供するサービスの質の向上を図ります。また、より良い療養生活を提供する施設として、設備等の老朽化による不具合の早期解消や計画的な改善ができる体制づくりを整えたいと考えています。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

医療機関併設の介護老人保健施設として、地域の医療・福祉拠点としての役割を果たすため、令和元年度事業計画書に則り、事故等もなく、適正に管理・運営が行われていると考える。また、地域の方々との交流を深め、定期的な研修等で職員の資質・向上を図る取組みを行っている。

前年度比で利用者数、利用率共に減少したことで減収となったが、今年度の評価結果を踏まえ、より一層、経営効率の向上を図っていく必要はあるが、引き続き質の高いサービスの維持と施設の適正且つ計画的な維持・管理への取組みを望む。